

造船統計速報(平成28年3月分)

平成28年5月19日
総合政策局情報政策本部
情報政策課交通経済統計調査室

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造船機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

1. 概況

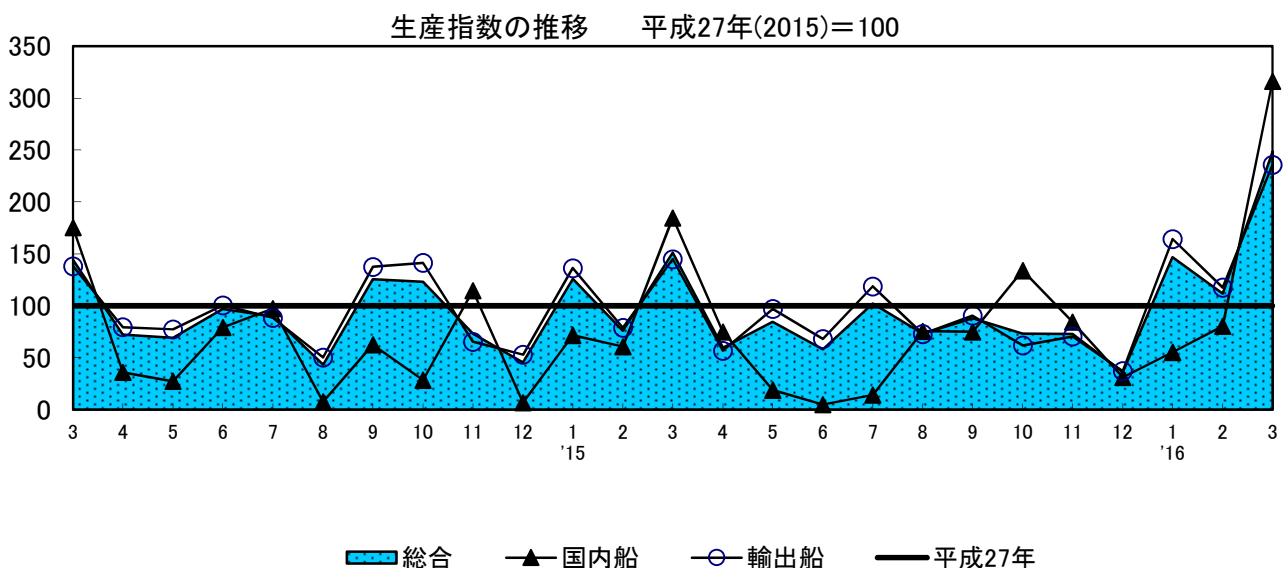
平成28年3月分の造船主要54工場の鋼船受注・建造実績は、受注12隻、47万1千G/T、起工23隻、89万8千G/T、しゅん工48隻、178万2千G/T、しゅん工船価2,933億円、生産指数(※)248.8であり、生産指数の前年同月比は、64.6%増であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計5隻、1万G/T、生産指数316.4であった。内訳は、油送船が1隻、その他船舶が4隻であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計43隻、177万2千G/T、生産指数236.0であった。内訳は、貨物船が35隻で、そのうち、一般貨物船3隻(パナマ、リベリア向け)、ばら積み船13隻(パナマ、リベリア等向け)、自動車専用船1隻(パナマ向け)、鉱石兼ばら積み船16隻(パナマ、バミューダ等向け)、木材兼ばら積み船2隻(リベリア向け)であった。油送船は6隻で、LPG船2隻(パナマ向け)、化学薬品船4隻(パナマ、マーシャル諸島向け)、その他船舶は2隻(イタリア、パナマ向け)であった。

鋼船修繕実績は、127隻、工事金額65億円であった。

2. 生産指数の推移



注1 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

注2 平成26年1月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。

注3 平成27年の基準値は確報値による。

※ 生産指数は、当該月のしゅん工船価(合計)を、基準時(平成27年)のしゅん工船価(合計)の月平均値で除して求めた指数である。本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

お問い合わせ先:

総合政策局情報政策本部情報政策課交通経済統計調査室
電話: 03-5253-8111 FAX: 03-5253-1567

03-5253-8348 (直通)

担当: 吉田 (内線: 28-742) 大橋 (内線: 28-743)

3. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円、指数:平成27年平均=100)

用途別		受注		起工		しゅん工				
		隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	生産指数	前年同月比
合計		12	471,350	23	898,371	48	1,781,985	293,283,944	248.8	164.6
国内船	小計	2	7,700	4	132,071	5	10,291	59,525,900	316.4	—
	貨物船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	2	9,075	0	0	0	—	—
	油送船	2	7,700	1	122,800	1	499	..	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	1	196	4	9,792	..	—	—
輸出船	小計	10	463,650	19	766,300	43	1,771,694	233,758,044	236.0	—
	貨物船	7	132,250	16	623,400	35	1,488,978	126,265,189	—	—
	油送船	3	331,400	3	142,900	6	137,016	..	—	—
	その他	0	0	0	0	2	145,700	..	—	—

※ 結果表中の「..」については、秘密保護上公表しないものである。

※ 受注後にキャンセルが発生した場合は、その隻数及びG/Tについて受注隻数、G/T欄の右横に[]書き(外数)で表示する。

4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	112	(15)	4,787,801	(1,706,335)
国内船	103	(15)	4,491,209	(1,706,335)
外国船	9	(0)	296,592	(0)

※ ()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。